

平成23年1月24日

## 「原爆瓦」の寄贈活動について

原子爆弾が炸裂した爆心地近くの元安川の川底から出土する「原爆瓦」をアメリカ、ドイツ、イギリスなど世界18カ国の105大学等に寄贈する活動を、広島大学としても援助することとしました。

この活動は、本学大学院社会科学研究所の大学院生による「広島大学原爆瓦発送之会」が行っている活動です。

### 【活動の概要】

「原爆瓦」は、原子爆弾が炸裂した瞬間の2・3秒間の熱線で、表面が泡立つように溶けてしまった家屋の屋根瓦です。爆心地近くの元安川の川底から採取されるものです。核兵器の恐ろしさを証明する負の遺産としては非常に貴重な資源です。この限りある貴重な原爆の証人である原爆瓦を、世界各地の高等教育機関である大学等に寄贈し、次世代への平和教育の材料として保管、展示をお願いするものです。原爆瓦寄贈にあたっては、この活動の趣旨を説明した上で、賛同いただける大学等に送付します。

#### ◆ 賛同を呼びかけた大学

広島大学初代学長の森戸辰男学長は、原子爆弾で焼け落ちてしまった広島大学の復興を図るため、世界各国の大学に図書、樹木の苗木の寄贈を募りました。多数の大学から貴重な寄贈を受け、それにより今日の広島大学の礎を築くことができたとも言えます。

このたび、60年前国境を越えて援助の手を差しのべてくれた大学に、広島大学が掲げる「平和を希求する精神」に基づき賛同を呼びかけました。

### 【広島大学の支援】

「第4回広島大学ドリームチャレンジ賞」の助成対象事業に選定され、海外への発送経費等が援助されます。(助成金：10万円)

広島大学ドリームチャレンジ賞は、広島大学同窓会が行う助成事業です。「大学に活気」をそして「学生には活力」を生み出してもらいたいという狙いで、学生の自主的な活動を助成するため、夢のある事業提案を募集し、厳正な審査の上助成対象を決定するものです。

### 【お問い合わせ先】

広島大学原爆瓦発送之会会長 嘉陽礼文 TEL：090-1185-1620
--